



## ショートトリップによるバッテリー上がり

皆さんは普段どれくらい車に乗っていますか? 「走行距離が多いと、車が傷みやすい」ということは想像に容易いことです。しかし、走行距離が少ない場合もバッテリーにとっては厳しい使用環境となります。

### ● ショートトリップとは



近所へのお買い物



駅への送り迎え



週末のみのドライブ

お買い物や送り迎えなど、「短時間・短距離走行」が中心の使用（いわゆる“チョイ乗り”）のことです。また、週末しか車に乗らないサンデードライバーなども「乗る頻度が少ない」ため、バッテリーに厳しい使用環境となります。この場合は、駐車中の放電時間が長いことがバッテリー劣化の原因になります。

### ● ショートトリップがバッテリーを弱らせる理由

① バッテリーは走行中に充電されるため、短距離走行では充電時間が不十分



② 車が停まっている時もバッテリーは常に働いている



③ 充電不足時間が続くと、劣化が進み、十分な性能が発揮できなくなる  
⇒ 放電気味使用を続けることは、バッテリー短寿命につながる



例えば…

スマートフォンを長時間放置していると、バッテリー残量が減っていきます。カーバッテリーも同じで、車を使用していなくても徐々にバッテリー残量が減っていきます。(暗電流による電力消費)

### ● 乗り方の改善

- 乗る頻度が少ない方も、定期的にバッテリー点検を行い、必要に応じて補充電しましょう。
- チョイ乗りばかりでなく、たまには長い距離を走行するように心掛けていただくと安心です。



ショートトリップによるバッテリー上がりは、バッテリーの不具合ではありません。十分な充電量が無くなったため起こるもので、基本的には充電することで回復します。(補償対象外)

### Point



- ショートトリップとは、「短時間・短距離走行」が中心の使い方や、「乗る頻度が少ない」使い方（いわゆるチョイ乗り）のことを指します。
- バッテリーは走行中に充電されるため、毎日の走行距離が短いと充電不足になり、バッテリーが十分な機能を発揮できず短寿命になります。

